

News Letter

Doctor's Voice @大阪

2024



「患者個々の適正血圧に合わせたテーラーメイド医療の実践」

【いぬいクリニック 院長 乾 登史孝先生】

血圧管理が予後に関わる患者が多いので、当院では高血圧の患者には血圧手帳を提供している。f'noとWelbyマイカルテが連携することで、電子カルテに患者のPHR（血圧・体重・歩数などの健康ログ）データを確認できるようになった。診察室では、本人のPHR記録を利用し、患者個々の適正血圧に合わせたテーラーメイド医療を行うことで患者との信頼関係構築に寄与している。



■ 家庭血圧の重要性

「自宅での早朝時の血圧」の重要性を日頃から説明しているので、継続して記録をしてくれる患者さんが多い。家庭血圧を平均化することができれば、突発的に高い数値がでて、「1回だけなら大丈夫」と説明することもできる。

■ 患者との信頼関係構築に利用

Welbyマイカルテ利用患者だとわかるように、電子カルテ画面に工夫して、事前にマイカルテを確認、患者が入ってきた瞬間に「最近いいですね！」と声をかけている。医師と患者さんが一緒に加療しているという一体感が生まれ、信頼関係を構築することで患者も利用を継続。

■ 新規患者への説明の工夫

マイカルテ画面を利用し、血圧の平均値や過去の数値と比較でき、手帳よりも良いことを紹介。

Doctor's File



いぬいクリニック

- 診療内容 脳神経外科・神経内科・内科・リハビリテーション科
- アクセス 〒540-0021 大阪府大阪市平野区喜連東3丁目5-6 0
TEL: 06-6706-0551

院長 乾 登史孝先生

2001年に近畿大学医学部を卒業。ドイツマインツ大学留学。
大阪急性期総合医療センター脳神経外科を経て、2019年にいぬいクリニックで診療開始
医学博士、日本脳神経外科専門医・指導医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医